

横河氏輔 よこがわ すすむ 建築家、工學博士。元治元年九月、二十一日播磨國生れ、昭和二十年六月二十一日歿（六四・一九四五）。明治二十二年帝國大學工科大學造家學科卒。二井組に入り、明治二十五年二井銀行本店を設計。日本の鐵骨構造建築を開拓。翌年横河工務所を開設したのでを始め、横河橋梁製作所、横河電機製作所を創り。父は儒醫横河秋濤、おと妻シバエ（明治二年二月生れ）は教育家棚橋一郎の貴妹。『横河氏輔遺稿録』（中村伝編、昭和二十年六月）二十五日横河氏輔遺稿録刊行会）刊。

編著書、横河秋濤著『播陽風土詩』全二冊（編、明治二十六年四月十八日自刊、大倉書店）、フランク、ビー、ギルバルス著『動作研究』（纂譯、大正元年十一月二十一日自刊）、『是の如く信ず』（大

正十四年十月十八日北文館）等。